

鑑賞活動の充実

各学年4ページを通した、取り組みやすい鑑賞題材を設定しました。鑑賞活動を通して、美術文化を実感的に理解できる、豊かな心を育てる教科書です。



絵から聞こえる音(3・4年下巻)
どんな音が聞こえてきそうかということ
を切り口に作品を鑑賞する活動です。



へんしんしょう(1・2年下巻)
低学年では、身近なものを使って活動することから、身のまわりのものをじっくりと見て味わう鑑賞につなげていきます。



作品鑑賞のマナーなど、美術館での過ごし方も紹介しています。



- ポイント**
- 作品にはさわらない。
 - 走ったり大きな声を出したりしない。
 - ワークシートなどに書くときはえん筆を使う。
 - 美術館の決まりを守る。

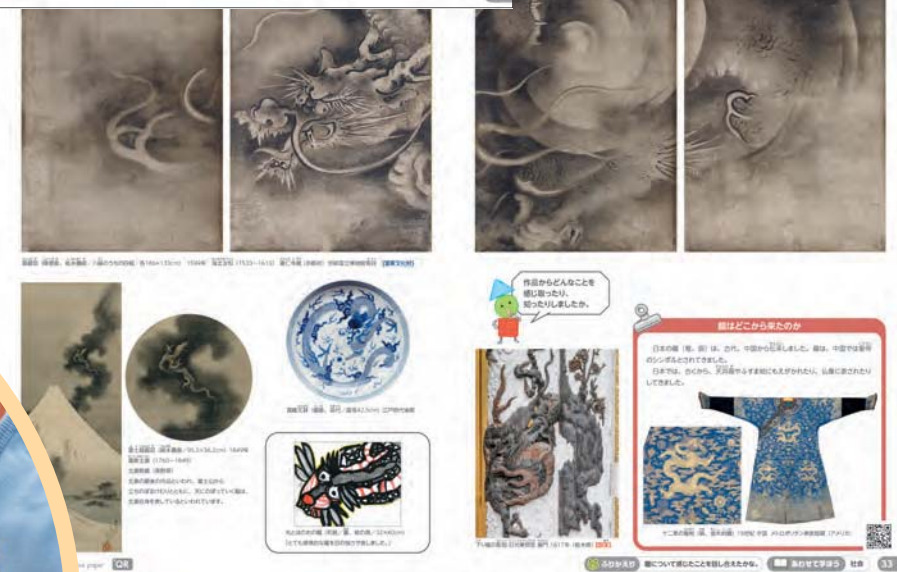
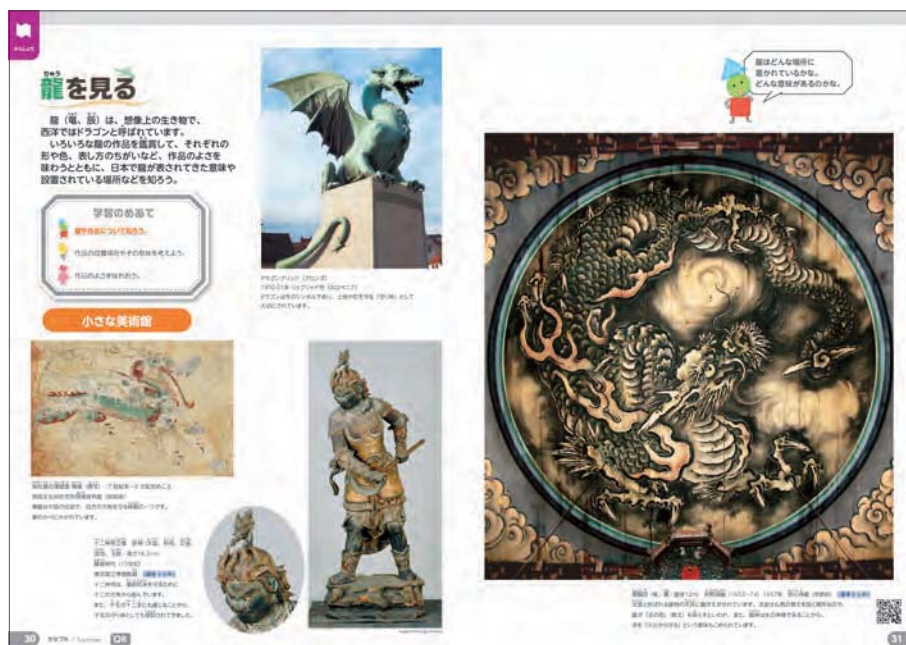
美術館をたのしもう(5・6年上巻)
美術館での鑑賞のポイントやさまざまな美術館の事例を紹介していますので、美術館での鑑賞活動の際の手立てとなるとともに、美術館や鑑賞への関心が高まります。

鑑賞から文化へ

鑑賞の題材では、各学年とも4ページ扱いの内容とし、幅広い授業展開が可能な題材として構成しました。さまざまな美術作品の鑑賞活動を通して、各国の文化を尊重する態度を養うことにつながると考えました。

龍を見る(5・6年下巻)

ゲームなどで児童に親しみのある龍に関する作品を鑑賞する題材です。世界や日本の龍(ドラゴン)の鑑賞をきっかけに、各地の文化の違いやよさに気づくことをねらいとした題材です。



比べてみよう(5・6年上巻)

構図やモチーフの近い作品を比べながら鑑賞する比較鑑賞の題材です。比べることで違いやよさに気づくとともに、気づいたことや感じたことを友達と話し合うことで、さらに鑑賞が深まります。

